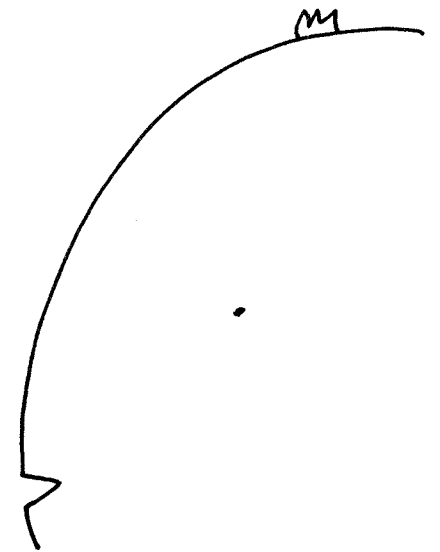


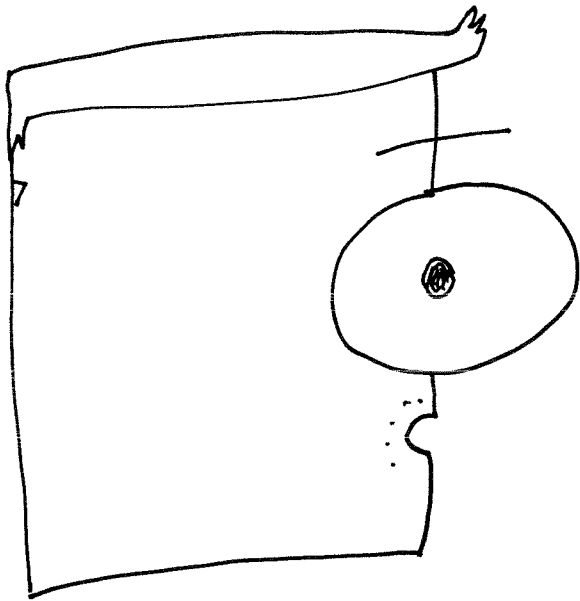
自分の本質が  
 ..  
 個人ではなく..

今この瞬間にあらわれている  
 ものをなぞしている土台の  
 ようなものであることが  
 わかると...

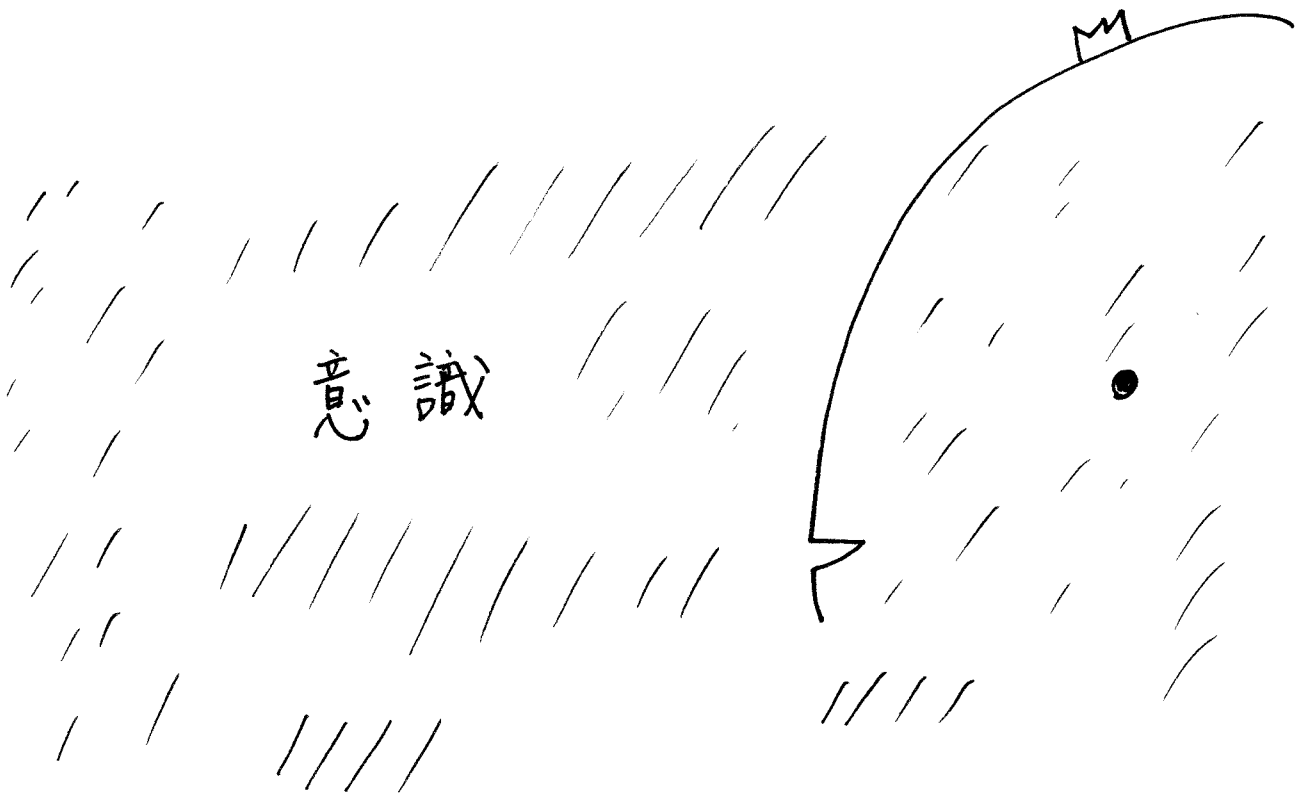
その  
 土台は意識だよね。

その意識は個人の中にも  
 浸透している。

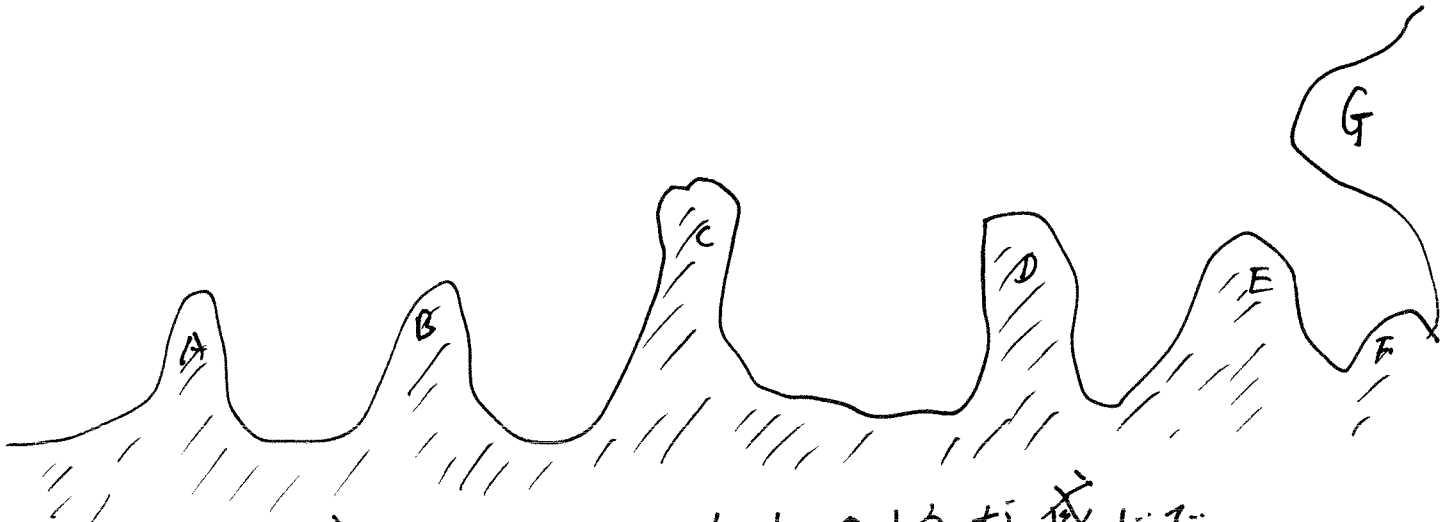




なるほど



意識という土台のうえにほくや君、そのほか君が目に  
写るものが現れている。

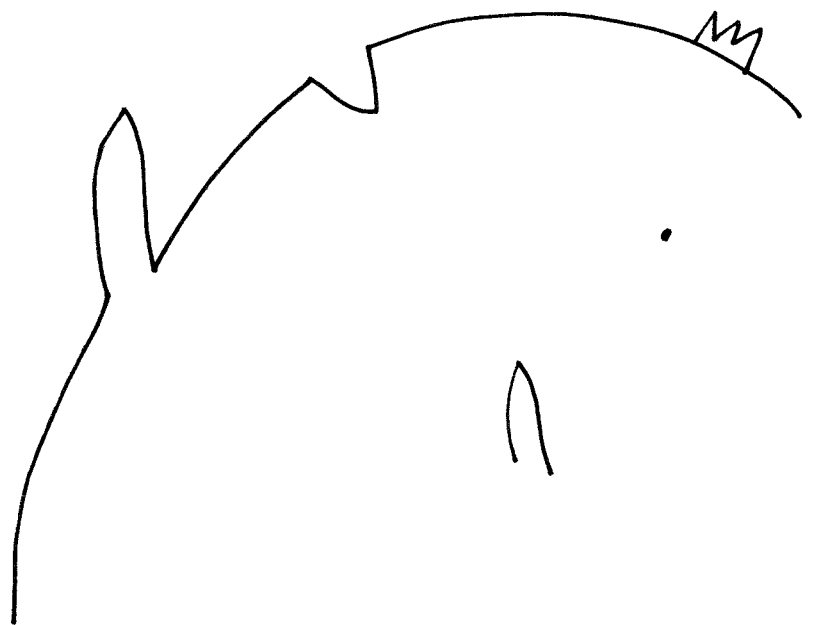


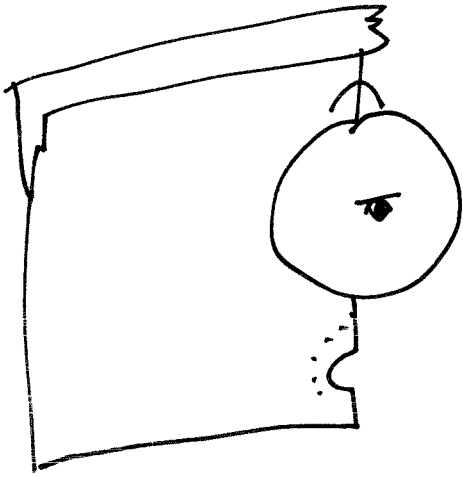
仮に意識がこんな砂山のような感じでは

あなたも君は。 Aは自分。 Bはぼく (☹️) 潜在意識

Cは他人。 Dは夢見。 Eはペット。 Fは夢に見えるか

もしれないね。





肉題は G のように 見える

意識なのかもわからない。

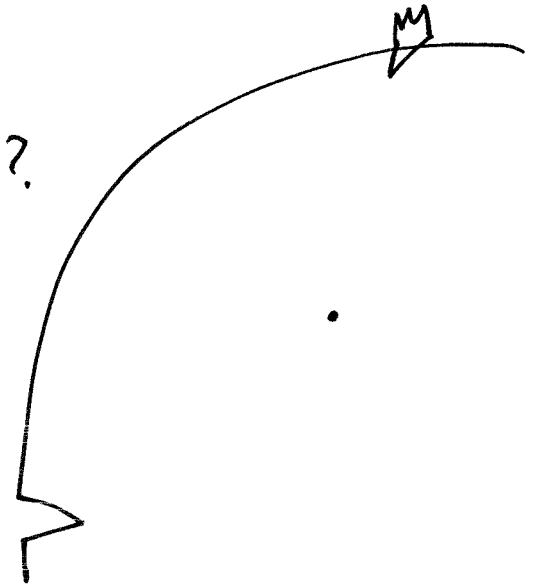
A. B. C. D. E. F. G は

もとは同じ意識である。

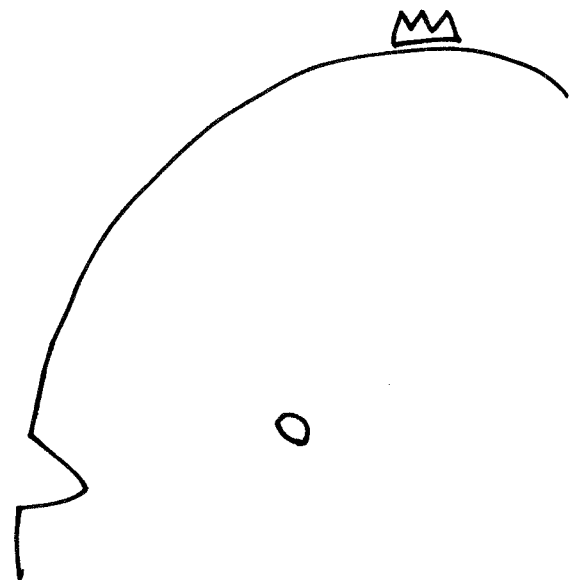
Gだけ肉題としてとりあげるのは

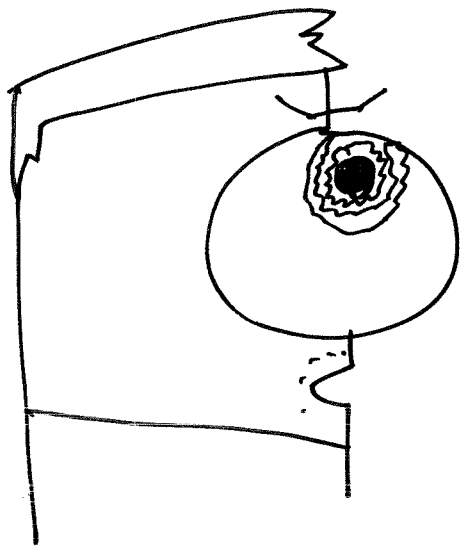
おかしいかもね。

ガンなんかの人の場合は ??



どうしても個人にガンが生じていると  
思ってしまう。





そう思ふと いてもたっても

いらぬよくなる。

不安だし。この11よー。

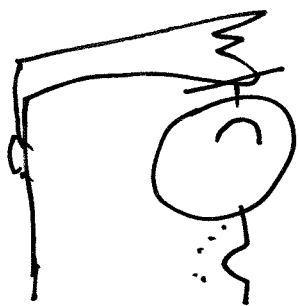
単純

自分が、個人ではなく、この<sup>しむか</sup>瞬間

にあつちかしている意識であると

本当にわかると、カン●に耐える

心の反応もかわるかも。



意識は死なない。

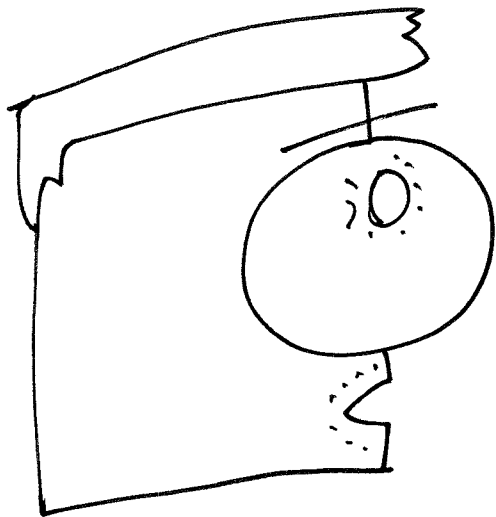
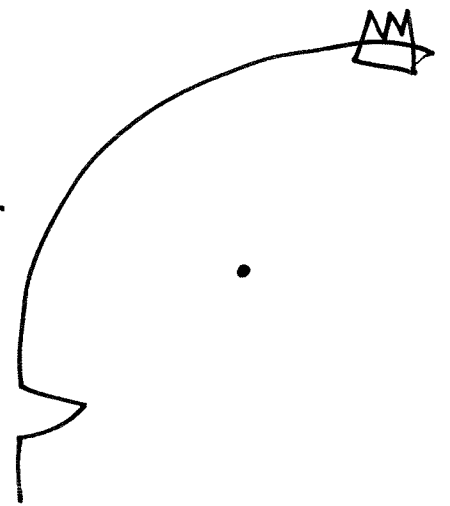
決して死なない。

だけ

意識は肉体のそばにあるのではなく、

意識のそばに肉体があることを

を知ることは大切な。



もうも身体をはみでて

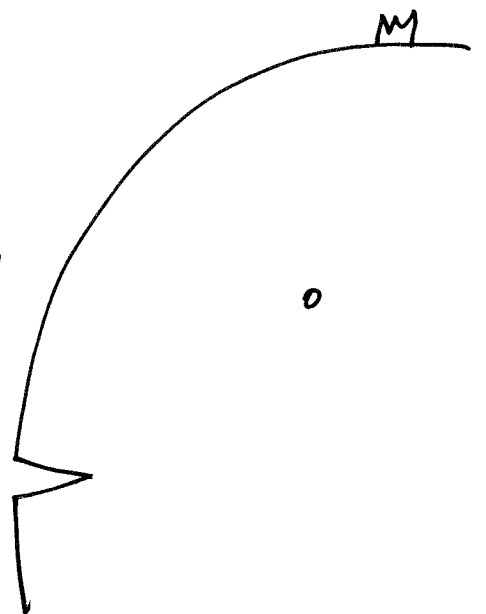
いるけど、もうのとこにも

自分があるからだよ。

意識は、もうをこえて広がっている。

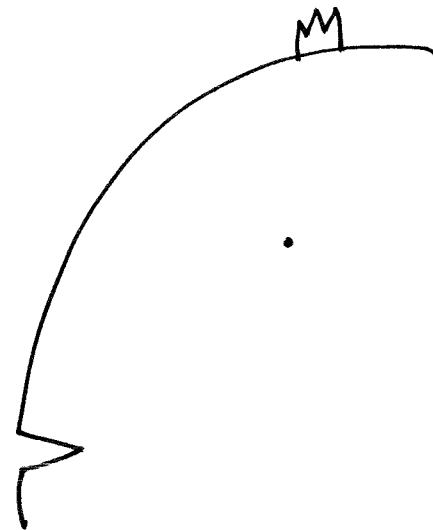
けど、意識には広さがいいんだ。

意識に大きさはいいんだ。



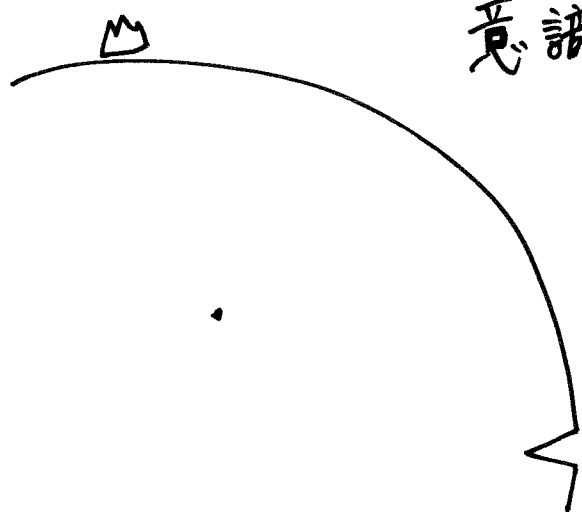
意識には中心がない。

海に中心がないようにね。

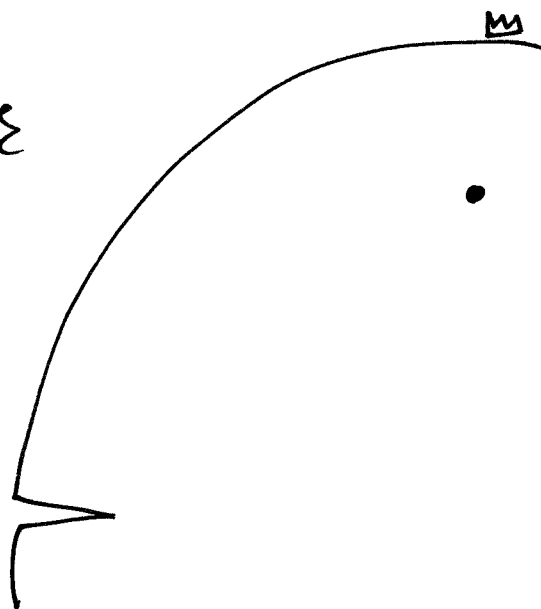


意識の海のため

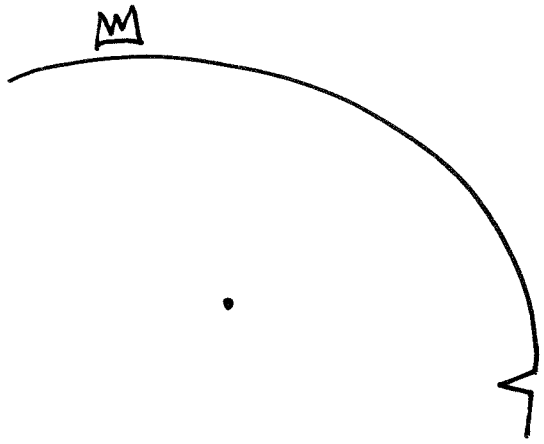
君や他人が人の形に  
なつて ただあちかよつて  
のかも。



ガンが君の本質である意識を  
消し去るものではない。



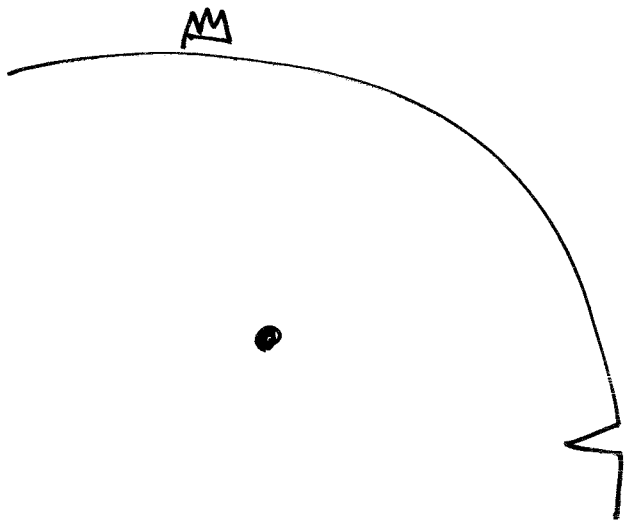




ガツも <sup>いし</sup>意識の海に  
キラリとみえる 波しるし  
だて 気づくといいよね。

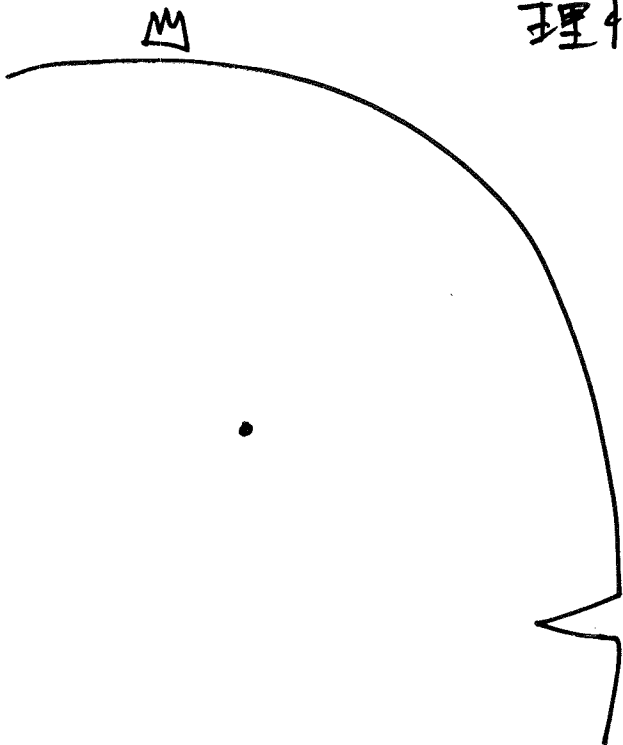
空と私は一つ。





自分が  
完全に空間にある  
意識、<sup>エッセ</sup>永遠のこの  
瞬間だとわかると

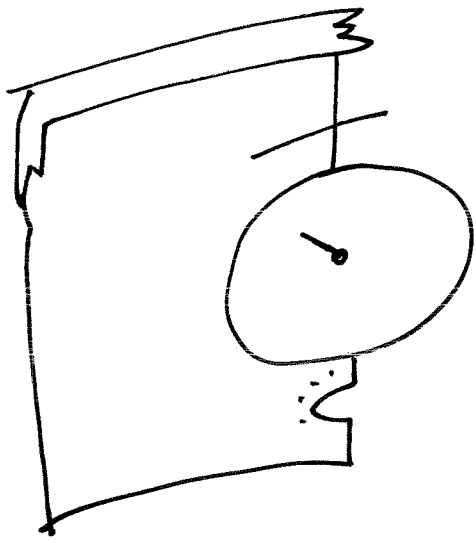
本当にわかると、カンが自然と消える。



理性の鬼いひみが完全に

消えると...

そうなるかもね。



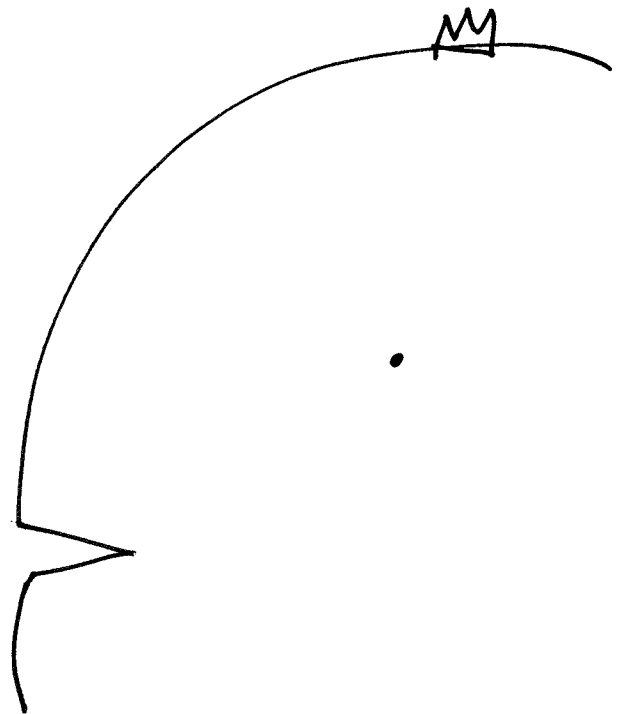
意識を身体の外に外くと

いうエクササイズは、

本当の自分を知らぬために

有効がもぬ。

これは ぶんかんするといふ  
のともいふちがうよぬ。



意識を空間において。

自分がガンでも。

この瞬間は完全だよ。

っていつか、奇跡はあたりまえのように

おきる。

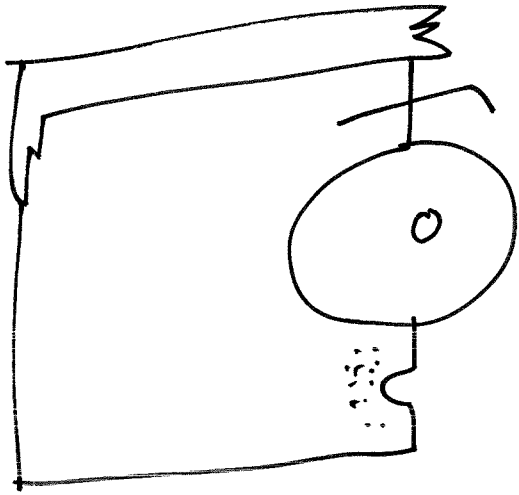


この瞬間が本当自分の正体。

死ぬこと(の) 意識!! この瞬間

の時に 時間や空間が表わして

いる。



今日、本屋さんへ行ったら、

『時間とは存在しない』という本が

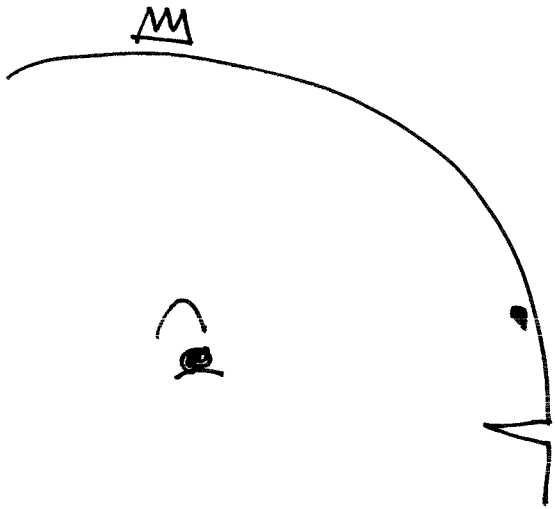
2冊もあった。

意識の海にはあらゆるものは現れる。

意識の海には中心がない。というとは

時間とは中心がないものは存在しないため。

時間とは存在しないといえる。



この理解は.

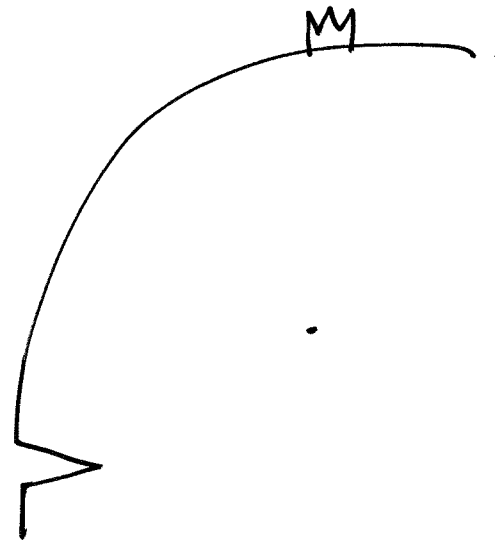
時間と追われる

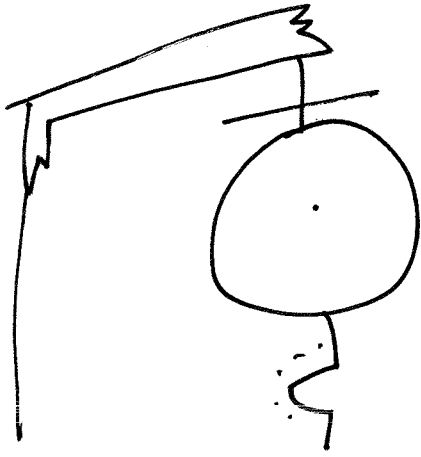
生活から. 今. への時間

にこのことをおしえてくれる。

君の好きな時間にはなっている

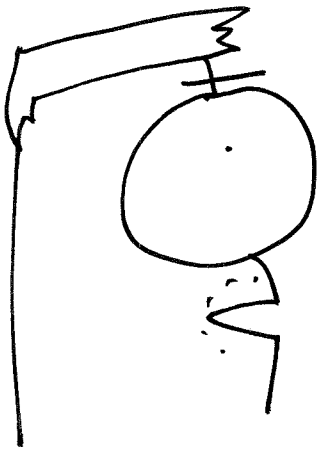
人でもね。





歩いているときに、ときどき  
立ちどまってみると。

君が言っていることが少し  
わかる。



より大きな自分のために、個人の  
ほくの人生があふかかっている。

個人の君の人生は、大きな君の  
意識が創造しているから、時間とは

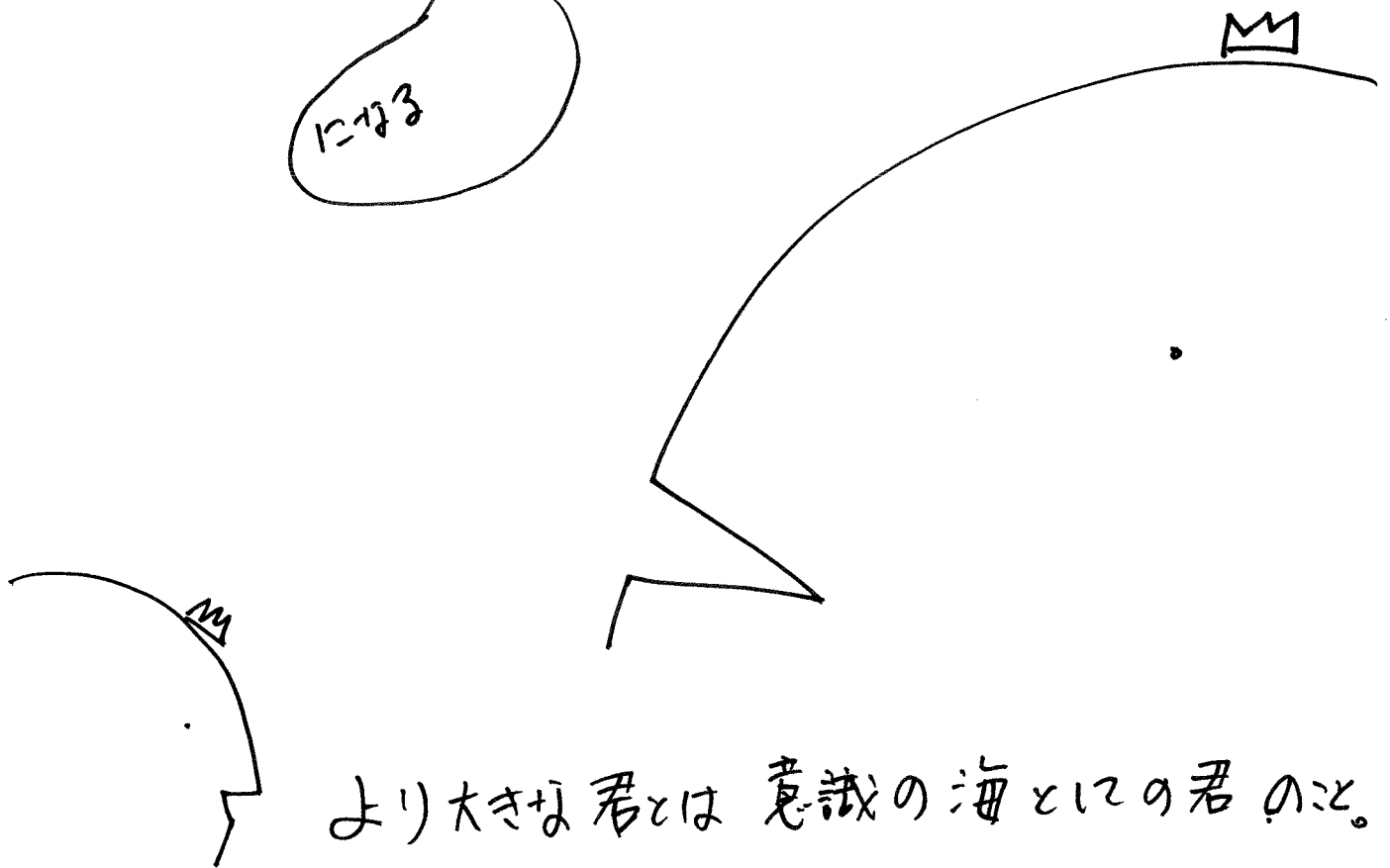
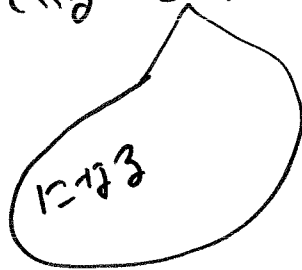
関係がないんだ。物語に時間とは  
よたね。その

は関係ないのと同じ  
思うと時間に支えられなくなると  
なる。

より大きな君がある

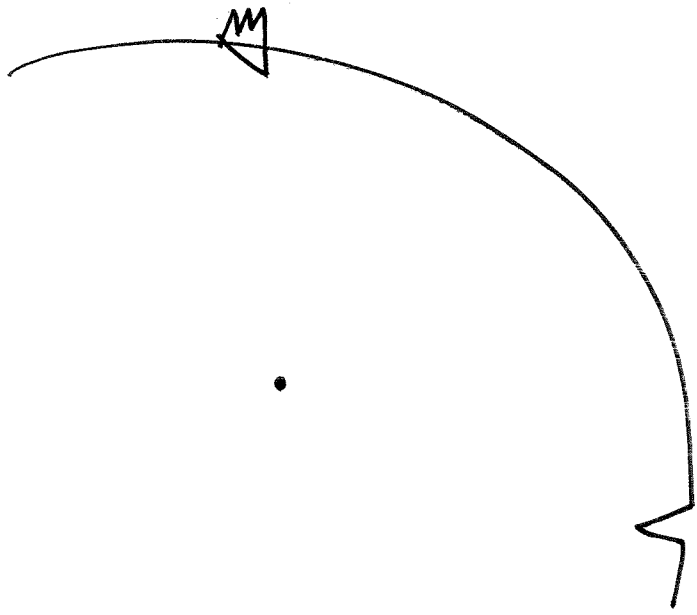
瞬間. おもったことが、君が長い人生だと

思っていることなんだよ。



より大きな君とは 意識の海としての君のこと。





君の人生とは

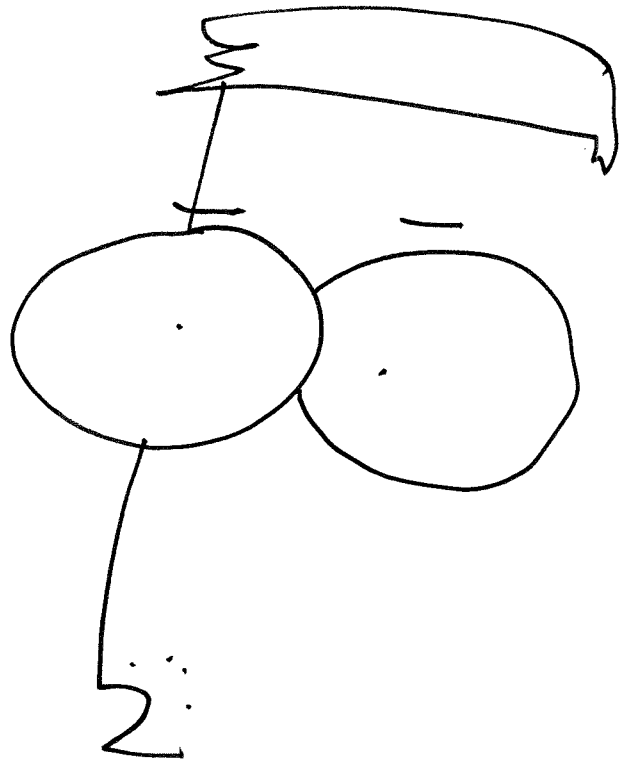
より大きな君という

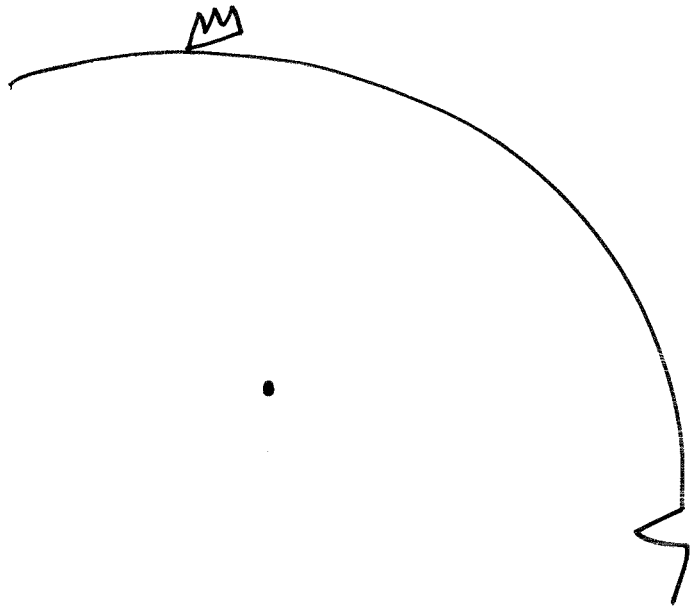
意欲の海●が

創造する無限の体験の

一つなんだよ。

むずかしいなあ





君の人生が無限の

体験のかけ

一つたとしても。

そこには何らかの

真実がある。

より大きな君は、そこに触れたくて

触れたんだ。

それが君の人生。君の体験にもほこ

いるよ。